

ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

応用地域学会ニュースレター（日本語版）, No.58, July 2005

ARSC 事務局：〒162-0485 東京都新宿区市ヶ谷本村町 2-9

（財）計量計画研究所

応用地域学会事務局 文部科学省学会コード = 10023

会長：柏谷増男 担当：宮本成雄

TEL: (03)3268-9692

FAX: (03)3268-9919

E-mail: clerk@arsc.org

主要項目： 新会長挨拶
副会長選挙結果
第 19 回研究発表大会のご案内
2004 年度学会決算
2005 年度第一回運営委員会の概要
事務局だより

1. 新会長挨拶

第 10 代会長 柏谷増男

応用地域学会の第10代会長を、2005,2006年度の2年間務めさせていただくことになりました。歴代の会長の方々が、国際的に活躍された立派な研究者ばかりですので、まことに恥ずかしく、固辞しようかと思いましたが、「私なりのやり方で学会に貢献しなさい」との皆様のご意向と考えまして、お引き受けさせていただくことにしました。会員の皆様方からのさまざまなご意見をできるだけ取り入れた学会運営に取り組みたいと考えています。微力ではございますが、皆様のご指導のもとに、学会の発展のため、いささかなりとも貢献したいと存じておりますので、よろしくお願い申し上げます。

「20世紀は交通の時代であった」といえるでしょう。機械としての自動車の出現は19世紀の末期でしたが、20世紀前半からの本格的な普及が人々の生活や産業のあり方を大きく変え

たことに歴史的な意義があります。飛行機は20世紀の産物ですが、人々の意識や社会の仕組みを大きく変えました。こうした交通の発達、都市や地域の姿、また国際的な視野も含む地域間の関係を大きく変貌させました。Regional Scienceの誕生と発展は、第2次大戦後に急速に展開した交通システムの改良とそれに伴う都市や地域の成長を反映したものと思われます。また、同時期に急速に発展した計算機技術も空間分析手法の開発に大きく貢献しました。今振り返ると、この分野の研究は、単純だったかも知れませんが、力強く歩んできたように感じられます。

21世紀に入って、先進国での人口停滞や減少、環境問題の深刻化など、都市や地域を取り巻く環境が複雑かつ曖昧になっているように思われます。Regional Scienceの分野でも新しい研究対象や分析手法が真剣に模索されているように見受けられます。一見、困難な状況のようにも見えますが、模索、探求する時期の方が、学問の発展には重要なのではないかと考えられます。応用地域学会に参集されている研究者の皆さん、とりわけ若い研究者から、この状況を突き抜ける新しい研究が花開くことに期待をしております。

学会運営上の実務につきましては、幸い、財務面での余裕がいくらかありますので、会員の皆様の研究をよりいっそう推進できるような方策に取り組みたいと考えています。皆様方から活発なご意見を得て、学問の発展に寄与しうる運営に努めたいと存じます。

2. 副会長選挙の結果

2005-2006年度 ARSC 副会長選挙は、2005年3月22日締め切りで実施されました。その結果、**小林潔司(京都大学)先生が、副会長に選出されました。**小林先生の得票数は以下のとおりです。

総投票数	143 票 (無効票なし)
得票数	小林潔司 53 票

(2005-2006年度副会長選挙管理委員 矢澤則彦、佐藤徹治)

3. 第19回研究発表大会のご案内

2005年度のARSC研究発表大会を、以下のような要領で明海大学の主催のもとに開催致します。本年度も例年にも増した活発な発表と討論を期待しております。9月5日の発表申し込み締め切りに向けて、是非奮って応募くださいますようお願い申し上げます。

(1) 大会概要

日程 : 平成 17 年 12 月 10 日 (土) ~ 11 日 (日)

会場 : 明海大学浦安キャンパス (千葉県浦安市)

(J R 京葉線新浦安駅より徒歩約 10 分)

〒279-8550 千葉県浦安市明海 8

明海大学浦安キャンパスホームページ : <http://www.leo.meikai.ac.jp/>

参加費 : 会員 無料

非会員 3000 円

(2) 発表の申し込み

申し込み

申し込まれる方は、以下の必要事項を **E-mail で申し込み先**までお送りください。E-mail の使用が困難な場合は、A4 用紙 1 枚以内に事項を記載して Fax または郵便にてお送り下さい。

a. 発表者氏名・所属

b. 連名者氏名・所属

c. 発表者連絡先 住所、Tel、Fax、E-mail アドレス

d. 発表題目(和・英の両方)

e. 要旨(和文 200 字、英語 100 語程度、できるだけ両方を記載)

f. 発表時の使用言語(日本語または英語)

g. 希望討論者(候補 2 名まで。ただし候補者に事前に了解を取る必要はありません。)

h. 発表区分(一般セッション、Early bird セッション、シンクタンクセッション、
特定セッション)

発表申し込み先 下記アドレスにメール送付して下さい。

yasada@meikai.ac.jp

メールが使えない場合は、FAX または郵送でお送りください。

FAX の場合 : 047-355-5280

郵送の場合 : 〒279-8550 千葉県浦安市明海 8

明海大学 不動産学部 浅田 義久

発表申し込み締切り

平成 17 年 9 月 5 日 (月) 正午必着

発表者の条件

発表者は、ARSC 会員であること。(会員でない場合は、大会までに入会手続きをし、会員になってください。)

(3) セッション構成と企画の募集

本年度も、一般セッション、Early Bird セッション、特定セッション、シンクタンクセッションの区分に従ってプログラムを構成する予定です。各区分の概要は以下の通りですが、特に特定セッション・シンクタンクセッションについては、広く会員各位からの企画を募集しています。

一般セッション

一般セッションは広く論題を求めています。以下に例年取り上げられているキーワードを挙げますが、それ以外でも ARSC 会員に有益と思われる報告は積極的に取り上げますので、よろしくご応募下さい。

地域問題：成長と衰退、地域格差、産業構造、雇用・人口、地方分権、地方交付税、国土計画

都市問題：都市空間、土地利用、都市集積、外部経済、住宅立地、都市化、都市財政

交通：都市交通、混雑税、TDM、航空・港湾、投資評価、物流、通信

環境：影響評価、環境税、水質・大気汚染、地球環境、電力、資源管理、防災

国際問題：開発援助、直接投資、通貨問題、貿易・関税

Early Bird セッション

このセッションは博士論文等を執筆している若手研究者や大学院在籍の学生会員が単著で申し込んだ発表によって構成されます。ARSC の将来を担う若手研究者による積極的な報告を期待しています。

特定セッション

このセッションは特定の論題を重点的に議論するためのセッションです。論点や方法論、対象が共通する論文数編で構成することになりますが、プログラム委員会は、このセッションの企画を募集しております。オーガナイザーを務めていただける方々からの積極的な応募をお願い致します。

過年度では、GIS、ロードプライシングなどのセッションが企画開催されました。本年度も特定セッションを是非とも開催して活発な議論を展開したいと思います。特定セッションを企画される方があれば、自由書式で結構ですので、企画書を上記の発表申し込み先に9月1日(木)までにご提出ください。

シンクタンクセッション

ARSC では会員による研究成果を実務へ活用すること、そして、実務の中で発見された様々な問題を新たな研究課題として会員に紹介することの双方向の展開が重要であるという共通認識に立っています。このセッションは会員の中で特に計画、政策立案、それに関連する調査等の実務に携わっている方々からの報告や問題提起をもとに構成されます。賛助会員の方々をはじめ、実務の方々からの企画提案を期待しております。

(4) 今後の予定

論文申し込み時のご希望に基づいて討論者の調整を行いますが、ご希望に添えない場合もあることをご了承ください。大会プログラムは 10 月中旬までに確定し、ARSC のホームページとニュースレターを通じてお知らせします。

最終の発表原稿は、11月7日(月)までに討論者・座長及びプログラム委員会に個別にお送りください。(最終原稿が PDF 形式で作成されていれば、プログラム委員会への提出分はメール添付ファイルでご提出いただけます。)

(5) 2005 年大会実行組織

大会実行委員会	委員長	前川	俊一 (明海大学)
	委員	浅田	義久 (明海大学)
	委員	宅間	文夫 (明海大学)

プログラム委員会	委員長	田淵	隆俊 (東京大学)
	委員	上田	孝行 (東京大学)
	委員	浅田	義久 (明海大学)

4 . 2004 年度学会決算 (案)

事務局担当 : 宮本成雄(計量計画研究所)

2004 年度学会決算を以下のようにご報告いたします。監査委員による監査後、12 月開催予定の年度大会での総会にて会員の皆様への報告がなされ、最終承認される予定です。

なお、本年度の監査委員には、岡本亮介 (政策研究大学院大学)、山村能郎 (明治大学) の両先生が指名されました。

応用地域学会2004年度決算書(案)

収入の部	2004年度予算		2004年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.繰越金	7,895,760	0.00	7,895,760	0.00
2.個人会費収入	4,275,000	2,100.00	3,936,617	0.00
3. RSAI会費	849,600	0.00	656,930	0.00
4.賛助会費収入	1,250,000	0.00	900,000	0.00
5.補助金(科学研究費補助)	1,300,000	0.00	1,500,000	0.00
6.大会参加費収入	400,000	0.00	1,109,000	0.00
7.大会開催寄付金	0	0.00	0	0.00
8.利子収入	0	0.00	38	0.00
9.雑誌販売(Back Number)	0	0.00	171,829	0.00
10.その他	0	0.00	0	0.00
収入合計	15,970,360	2,100.00	16,170,174	0.00
(繰越金を除く収入合計)	8,074,600	2,100.00	8,274,414	0.00

支出の部	2004年度予算		2004年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1. RUDRS刊行費	4,360,000	0.00	4,172,000	0.00
(編集印刷経費)	1,300,000	0.00	1,500,000	0.00
(刊行・発送費)	3,060,000	0.00	2,672,000	0.00
2.年報刊行費	1,000,000	0.00	744,683	0.00
3.大会開催費	650,000	0.00	1,185,221	0.00
4. RSAIへの送金	849,600	0.00	0	0.00
5.坂下賞			121,000	
6.名簿印刷費	50,000	0.00	0	0.00
7.ニューズレター等印刷費	200,000	0.00	106,155	0.00
8.一般事務費	210,000	0.00	317,028	0.00
(郵送費)	150,000	0.00	216,480	0.00
(消耗品等)	10,000	0.00	79,133	0.00
(謝金等)	0	0.00	0	0.00
(銀行手数料)	50,000	0.00	21,415	0.00
9.事務局費	500,000	0.00	500,000	0.00
10.予備費	200,000	0.00	0	0.00
支出合計	8,019,600	0.00	7,146,087	0.00
繰越金	7,950,760	2,100.00	9,024,087	0.00
ドル貨円換算(手数料を除く)	169,500			
繰越金合計	8,120,260		9,024,087	

(RSAI会費が未確定なため、3月末現在送金されていない)

5 . 2005 年度第一回運営委員会報告概要

事務局担当：宮本成雄((財)計量計画研究所)

2005 年度第一回運営委員会が 6 月 12 日(日)に行われました。議事録の詳細が必要な方は事務局までお知らせ下さい。以下に、議事の要点をご紹介します。

副会長選挙結果報告(別掲)

決算報告(別掲)

繰越金が、かなり大きくなっているため、大会開催への補助の増額(100 万円までに増額)、大会参加費の無料化(2005 年度に限定)や懇親会費の減額等、会員サービスの向上などを考える。

また、事務局費の増額とともに会費納入率のアップ等事務局業務を強化する。

会員名簿発行と個人情報保護について

本年度は会員名簿発行の年であるが、「個人情報保護法」施行のもと、学会としての個人情報保護規程や個人情報保護の基本方針(これらは 12 月の総会に諮る)を定め、管理体制を整備した上で、名簿発行とする。名簿発行に際しては、会員に掲載事項の承諾を得ることとなる。

RURDS 出版関係

土井正幸 RURDS 編集委員長からの報告の紹介があり、RURDS 出版に対して、16 年度科学研究費として、150 万円の支給を受けたこと、及び、発行の準備は順調に行われている旨の報告があった。

応用地域学研究出版関係

応用地域学研究の編集に関しては、編集委員長が、黒田達朗(名古屋大学)先生から中村良平(岡山大学)先生に交代し、2005 年 4 月より以下の新体制で行われている。

編集委員長	中村良平(岡山大学)
委員	安藤朝夫(東北大学)
委員	大澤義明(筑波大学)
委員	奥村 誠(広島大学)
委員	衣笠達夫(追手門学院大学)

第 10 号の編集を進めている。年 2 回の発行としているが、投稿本数が少ないようなので、増やすよう努力する。本数がそろわない場合は、年 1 回発行も考慮する。

バックナンバーは、事務局(計量計画研究所)に保管されており、その販売は事務局判断でおこなう。

坂下賞について

本年度の坂下賞選考委員会は、以下のようになりました。なお、選考委員会開催に伴う事務は、柏谷会長が行う。

委員長	藤田昌久（京都大学）
委員	佐々木公明（東北大学）
委員	金本良嗣（東京大学）
委員	柏谷増男（愛媛大学、ARSC 会長）
委員	小林潔司（京都大学、ARSC 副会長）

本年度研究発表大会について

前川俊一（明海大学）先生を大会実行委員長に、準備が順調に進められている旨の報告がありました。また、別掲のように、プログラム委員会委員長には、田淵隆俊（東京大学）先生が選出されました。

研究発表大会での発表者は、会員であることを条件にすることとし、もし、会員でない方が発表しようとする場合は、大会までに入会してもらう。

6. 事務局だより

ARSC 会員現勢

2005 年 6 月 10 日現在の会員数(昨年度総会以降の入退会者を含む)は以下の通りです。

個人会員 450 名(内、一般会員 377 名、学生会員 61 名、海外会員 12 名)

賛助会員 13 団体(総口数 21 口)。

地域科学に関連する分野の研究に興味を持たれている個人または団体が周囲に居られましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。個人会員用の入会申込書は ARSC のホームページ(<http://www.arsc.org/>)より入手可能です。また、Email によるお申し込みも受け付けておりますので、記入事項を ARSC ホームページにてご確認の上、必要事項を記入して arsc@arsc.org 宛てに Email でお申し込み下さい。

事務局やニューズレター等に対しまして、ご意見や新しい企画等ございましたら、お知らせいただきたいと思います。